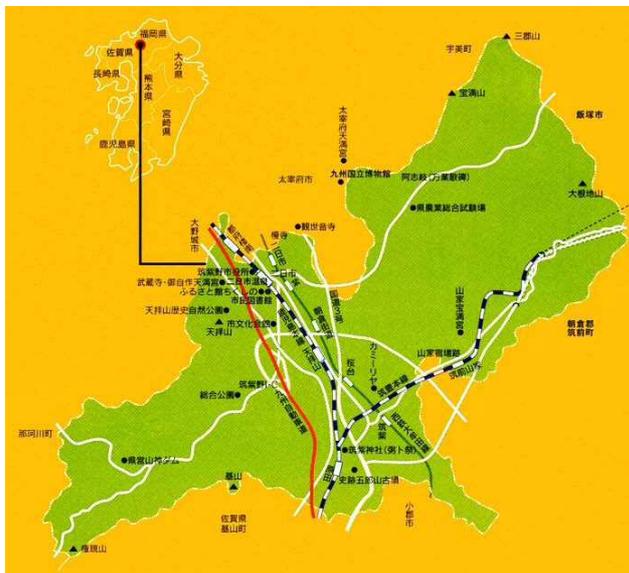


第2章 筑紫野市の概要と水道のあゆみ

2-1 筑紫野市の概要

本市は、福岡県の中央部のやや西よりに位置しており、面積は87.78km²、東西15.6km、南北14.1kmに広がる市形は、蝶が羽を広げた姿に似ています。西が背振山系、東が三郡山系の一部をそれぞれ形成。平地は市域中央部に広がっています。中央部には平坦地ながらも分水嶺を抱え、御笠川・那珂川水系は北流し博多湾へ、宝満川水系は南流し有明海へそれぞれ注いでいます。



本市の位置図

地勢上の特性による影響もあり、本市の主要交通体系は、市域中央部に南北方向のものが集束する形態を取っており、国道3号やJR、西鉄の鉄道路線などが広域交通体系上の中核的役割を果たしています。鉄道は二日市-福岡間を12分から30分程度で結び、道路交通は九州自動車道筑紫野インターチェンジが整備され、利便性の高い交通条件下にあります。



二日市温泉 御前湯

2-2 筑紫野市の総合計画

平成23年4月、第4次筑紫野市総合計画 後期基本計画を策定しており、その政策と主要な施策は、下記の通りです。

【政策1】健康でやすらぎのある福祉社会の形成

主要な施策：健康づくりの推進、子育て支援の推進、高齢者・障害者福祉の充実、社会保障の充実、地域福祉の推進

【政策2】安全で安心して暮らせる地域社会の構築

主要な施策：交通安全対策の推進、防災・消防体制の整備、防犯対策の推進、賢い消費者の育成

【政策3】豊かな自然環境の次世代への継承

主要な施策：循環型社会の形成、地球温暖化防止と自然環境の保全

【政策4】自然と共生したうるおいのある生活環境の形成

主要な施策：安全で安心な水道水の供給、衛生的で快適な下水道の促進、生活衛生の向上

【政策5】生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備

主要な施策：学校教育の充実、青少年の健全育成、生涯学習・社会教育の推進、スポーツ・レクリエーションの推進

【政策6】認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成

主要な施策：人権意識の向上、男女共同参画社会の推進

【政策7】まちの発展と安定した暮らしを支える都市基盤の充実

主要な施策：安全で快適な都市施設の整備、計画的なまちづくりの推進

【政策8】まちの活気をはぐくむ産業の振興

主要な施策：農林業・商工業・観光の振興、雇用の促進

【政策9】市民参画のまちづくりの推進

主要な施策：市民協働社会の構築、広報・広聴の推進、情報化の推進

【政策10】責任ある効率的な行財政の運営

主要な施策：計画行政と効率経営の推進、人材育成と組織の整備、広域連携の推進



市木：ツバキ



市花：サルビア



つくしちゃん

2-3 水道のあゆみ

本市の水道事業は、昭和32年6月に創設認可を取得し、計画給水人口15,000人、計画一日最大給水量3,000m³/日で昭和35年4月から給水を開始しました。その後、水需要の増加や給水区域の拡張に対応するために施設整備を行ってきており、これまでに計6回の事業変更認可を経て、現在は、計画給水人口105,600人、計画一日最大給水量34,700m³/日で事業を運営しています。

表 2.1 本市の水道事業の沿革

事業名	認可取得年月	給水開始年度	計画給水人口 (人) ※1	計画一日最大 給水量 (m ³ /日) ※2
創 設	昭和32年6月	昭和35年4月	15,000	3,000
第1次拡張	昭和38年12月	昭和40年9月	15,000	4,000
第2次拡張	昭和41年1月	昭和45年4月	28,000	8,000
第2次変更	昭和42年3月	昭和45年4月	28,000	8,000
第3次拡張	昭和47年3月	昭和50年4月	40,000	15,600
第3次変更	昭和49年3月	昭和50年4月	46,000	23,000
第4次拡張	昭和59年9月	昭和61年4月	55,000	20,900
第5次拡張	平成5年4月	平成8年4月	72,200	26,000
第5次変更	平成6年8月	平成8年4月	74,600	26,800
第6次拡張	平成16年1月	平成17年4月	110,400	34,800
軽微な変更	平成18年12月	平成18年12月	105,600	34,700

【用語説明】

※1 給水人口：給水区域内に居住し、水道から給水を受けている人口

※2 一日最大給水量：1年間で最も多く配水した日の配水量を給水量に置き換えた水量

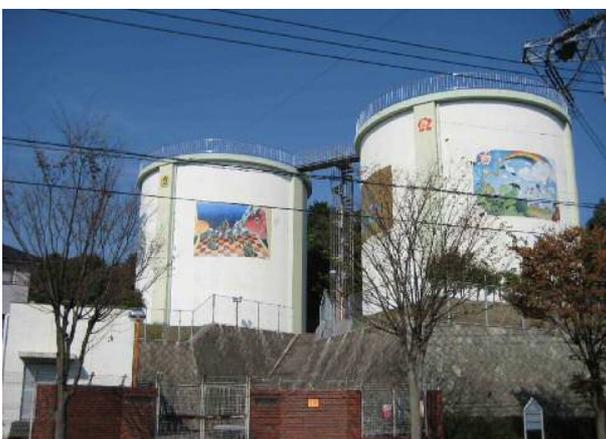


←天拝坂中央配水池

(PC 構造、 $V_e=3,160\text{m}^3 \times 2$ 池)

本市の基幹的な水道施設の一つであり、福岡地区水道企業団の牛頸浄水場から浄水を受水し、二日市地区などの配水拠点です。

原配水池→
(PC 構造、 $V_e=1,400\text{m}^3$)
常松浄水場から送水し、吉木地区、原地区、宮の森団地などの配水拠点です。



←原田ニュータウン配水池

(PC 構造、 $V_e=1,500\text{m}^3 \times 2$ 池)

原田ニュータウンの宅地開発と合わせ整備された配水池であり、山神水道企業団の山神浄水場から浄水を受水し、西鉄筑紫駅周辺の配水拠点です。